



【陸上記録会の
ブログ記事】

放課後の陸上練習。たまに私が運動場に顔を出すと、「跳ぶから見て！」という子がいます。何度も投げ、何度も飛び、はたから見ています(これ以上は疲れて無理だよ。)と思っても「もう一回、もう一回。」と繰り返す子がいます。陸上記録会当日には、トラックに向かう前に「写真、忘れずに撮っておいてよ。」という子がいました。

秋の陸上大会が終わりました。一昔前のようにひたすら練習に打ち込む時間もなく、週2~3回の短時間の練習でしたが、どの子も陸上が好きで、楽しんでいるのがよく分かりました。

つないで つないで

個人競技の趣が強い陸上ですが、やはりチームスポーツであると、今回の大会を振り返って思います。

【つなぐ①～バトン～】

リレーのバトンが渡る瞬間は目が離せません。全速力をつなぎ、緊張をつなぎ、練習の成果をつなぎ、ひっくるめて言うと互いの心をつないでいます。応援する側は「つながれ、つながれ」と祈るように見守ります。この大会、全てのバトンがつながりました。



【つなぐ②～5年生へ～】

9日の大会が、11月の県大会を除いて、6年生が参加する最後の大会でした。

6年生は、去年から今年へと挑戦し続けてきました。涙を流しながら、それでも悔しさを乗り越えてたどり着いたのがこの大会でした。さあ、5年生も来年に向けて自分の気持ちをつないでいきましょう。時間をかけるからこそ得られるもの、時間をかけなければ得られないものがあります。それは、記録よりも、きっと、もっと大切なものです。

【つなぐ③～4年生も～】

5、6年生の頑張りを見て火がついた4年生もいます。

「ぼく、50m走は9秒やけど、大会出られるかなあ。」と来年を目指す男の子がいます。そう言えばこの子は、観音寺のトライアスロン大会にも出場したと聞いています。何事にもチャレンジする姿勢が大切です。結果は後からついてきます。「私、サッカーをしようから。」と自信をのぞかせる女の子もいます。6年生の中にも、サッカーと両立し、やり遂げた、いいモデルがいます。

大会が終わり、競技場を後にすると、子どもたちはさっぱりとほころんだ顔を見せました。その顔を見ていると「競技前は、なんだかんだ言っても、やっぱり緊張していたんだなあ。」と感じさせました。

一つの大きな場を乗り越えるたびに子どもたちはたくましく、明るく成長していきます。